



(左)「よいしょー」の掛け声でもちをつく大人と子どもたち。もちつきを楽しむ参加者の笑い声が響き渡った。  
(下)待ちに待った食事の時間。もち入りのフルーツポンチおいしそうだね。



11  
23

## みんなで叶えた 美しい夢

### 阿多田島フェリー乗り場駐車場

青少年育成広島県民会議が主催する「夢配達人プロジェクト推進事業」。広島県内の子どもの夢を地域の方が協力して叶えるこの事業に、阿多田島に住む島津美夢さん(小方中1年)の夢が選ばれた。

「なくなってしまったもちつき大会をもう一度行い、島のみんなと交流したい」

阿多田島の住民は約300人。この日は島津さんの夢を叶えるために約250人が集まった。久々のもちつき大会に大人も子どもも気合十分。みんなでもちをつき、もちを食べ、楽しい時間を過ごした。



夢の提案者、島津美夢さん。



大人も子どももみんな笑顔で記念撮影。

## 旅立つ 思い出の品 旧松ヶ原小学校

11  
24

オープン前から長蛇の列で、約800人が訪れた「廃校ノスタルジア」。廃校になった穂仁原小学校と阿多田小学校で使われていた、机や椅子、チョーク、トランペットなどが販売された。一点物はオークションで価格が決められ、参加者の威勢の良い声が飛び交った。

市内から訪れていた太田智絵さんは「このイベントはフェイスブックで知り、子どもと2人で来ました。試験管を3つ買いましたよ。とても楽しめています」と笑顔で話してくれた。



(右)アコーディオンなど約1,800点の備品が販売された。



(上)教室に入場制限がかかるほど、多くの人でにぎわった。

(下)オークションでは、あちらこちらで手が上がり、威勢の良い声が飛び交った。



市内から訪れていた、太田智絵さんと芽依ちゃん。